

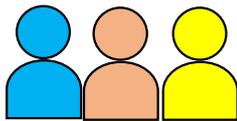
## 参考資料

練馬区地域包括支援センターの人員および運営の基準に関する条例の改正内容について

## 改正点 1 「常勤換算方法」によることができる。

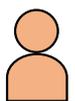
## 改正前

常勤職員が必須

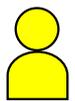


3人とも常勤職員

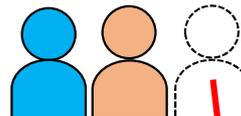
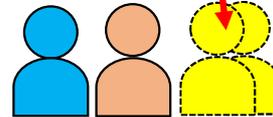
法定3職種

保健師  
・看護師

社会福祉士

主任ケア  
マネジャー

## 改正後

地域包括ケア推進協議会が認めた場合  
「常勤換算」によることができる。主任ケアマネジャー  
に欠員が発生非常勤職員を配置し、  
欠員を解消

「常勤換算」の例

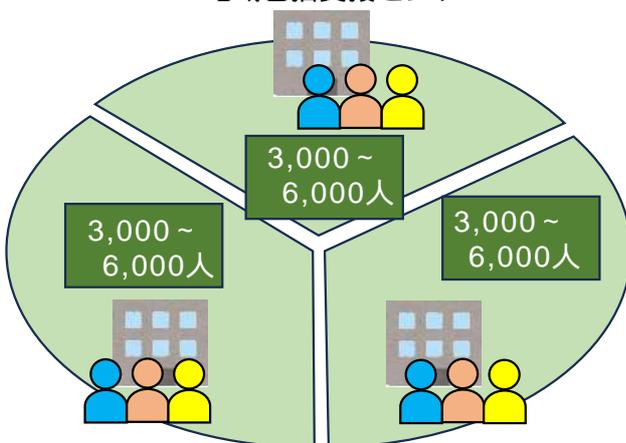
$$\frac{\text{非常勤A (24時間/週)} + \text{非常勤B (16時間/週)}}{\text{常勤 (40時間/週)}} = \text{常勤換算 1人分/週}$$

## 改正点 2 複数圏域の合算

## 改正前

センターごとに、3職種1名ずつの配置が必須

A地域包括支援センター



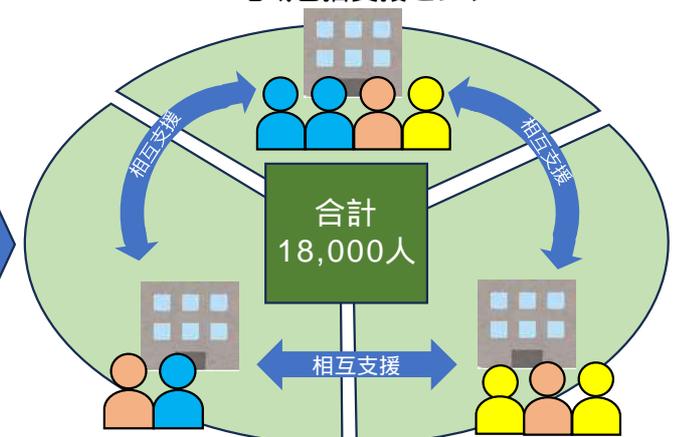
B地域包括支援センター

C地域包括支援センター

## 改正後

複数のセンターで3職種の合計数を満たせばよい。

A地域包括支援センター



B地域包括支援センター

C地域包括支援センター

・全体で必要となる職員の数是不変。

例：第1号被保険者数の数が3,000人以上6,000人未満の3つのセンターが担当する区域の第1号被保険者数の数を合算する場合 3職種(3人)×3センターの計9人の職員の配置が必要

・人材確保が困難な場合であっても、1つのセンターに2職種の配置は必要